

愛駒 2012 秋編集する

2012 年 10 月 04 日 18:28 友人の友人まで公開

12 view



天使と悪魔のささやき。

(って、どっちが天使で、どっちが悪魔か!?)

👤 今年はまだ 3000m 級に登ってないぞ、かいこま

🦀 深いこと考えずに行けちゃうぞ、あいこま

👤 噂の頑固オヤジを見たいではないか、かいこま

🦀 お気楽なオヤジ&姐さんがいるではないか、あいこま

👤 黒戸尾根でトレランなんかやらないから小屋を続けて、と頑固オヤジに伝えたいぞ、かいこま

🦀 そんなこと考えなくたって、のんびりできるじゃん、あいこま

👤 また来るぞと誓ってから 10 年は経ったじゃないか、かいこま

🦀 平日に来ないとゆっくりできないぞ、あいこま

👤 あの白くて気高い山を忘れてしまったのか、かいこま

🦀 あの山頂らしくない、まんまるみの形で勝負だ、あいこま



ってなわけで、実は一時帰国中のワタクシですが、かなり脳が疲れていたようで、ほんとに何の下調べもせずに家を出たのでありました👜

しかも平日だったので、誰にも声をかけず。このあたりも、疲れていたんだと思う...💧

とにかく、だいたいいつもの時間に家を出て、例の北千住発の電車に乗れさえすれば🚆

そこはもう...✨✨✨✨

-----

【10月2日(火)】

今回はこちらから！



このキリントルートだけは通ったことがなかった。噂では、かなり期待のできる眺望らしい😊

さて、登山道はよく踏み固められているものの、ゆるやか～な登り。ほとんどももを上げた記憶がないくらい、ゆるやか。滝沢ルートが男坂なら、キリントは女坂といったところか。ここをダラダラダラダラ、ダラダラダラダラ登り続ける...

ダラダラダラダラ...💧💧

でも、歩き始めてほんの数分で、久々にいい汗をかいてきた。ひんやりとした空気の中、身体がじわじわと温められて発汗する、この感覚。風呂上がりの、若干人工的に作られた汗とも違う、この感覚。最後にこんな汗をかいたのはいつのことだったか...

と、思い返せば...

そうだ💡 8月の上海、湿度90%以上の中、ちょっと昼飯を食べに行こうとしただけで、無抵抗に出てきたあの汗以来ではないか...(ってちがうっ、あのべっとり感の汗と一緒にくたにはいかんっ!!💥 ここは神聖な山なんだ一っ!!🌄)

まあそんなこんなで、まずは、ただ歩いているだけで、自己満足。見上げれば、



ブナっち🍀

でもレンズを通して見上げると、



何回 やっても真っ暗にしか映らない... 📉

がんばれ、オリンパス! 📷

そうこうしているうちに、この爽快感が、だんだん不安に変わり...

ポツポツ... ☔

..... 💧

おそらく標高も上がり、雲の中に突入したのであろう。レインウェア装着... 📉📉📉

その後もずっと樹林帯で、変わり映えがない。

え!? 眺望!? そんなもの知らんっ💡



大津岐峠。昼食。

無風だが、やはり止まると寒い。なんかいいものないかなあ、とザックの中を引っ掻きまわすと

チャララン🎵 (→ドラえもんがポケットから秘密道具を出すときの BGM)

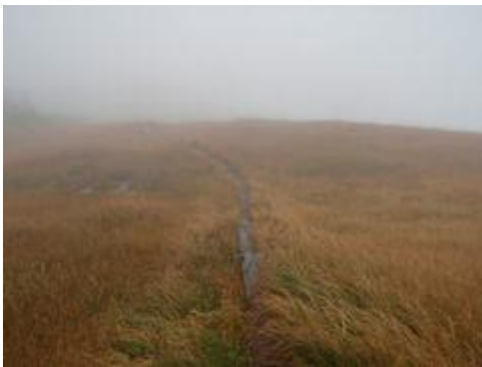
「ホットチョコレート!!🍷」

レシピは簡単。ガーナミルクチョコレートを口の中にとろがしたまま、白湯を飲むだけ。食べ始めたら止まらずで、板チョコ半分終了。あれ🤔

ここからは稜線歩き。時々湿地帯も現れ、木道が整備されているのだが、うん!?



遠方に、何かが...



草紅葉!! 🌼



小人目線で、草紅葉!! 🌼



これ、天気がよければ、絶対に金色に光るんだろうな～、と妄想しながら、これ以後、ナウシカの曲を口笛で吹く🎵

と、気分上々なのに!!

雨の日の木道、滑りやがるぜ... 🍄

あとは、ひたすら稜線を歩くのみ。唯一、ガスがきれた瞬間があって、見れたのがこれ。





小屋のほんのちょっと手前あたり。紅葉はちらほら始まっています。

その後小屋の直前だけ、登りらしい登りが続いたら、



到着!!



駒の小屋🏠

出迎えたくれた小屋番さんに挨拶すると、さりげなく「おかえりなさい」と言ってくれたので、「ただいま」と返した。この小屋に戻ってきたことを実感👌

でも、ここでまったりするともう外に出たくなるので、荷物だけ置いて、ひとまず山頂へ！🧑🏫

ガスでもなんでもかまわない。とにかく身軽になって、山頂に立ちたい、とその一心で早歩きすること十数分💧💧

あっ、

すっかり忘れていた、ここの山頂…。



そうだ、360度笹に囲まれた、視界のない山頂だった…😞

ここ数年、残雪期にしか来ていなかったからなあ、と思いつつ、山頂に立てて、大満足👍

その後、中門岳方面に、ちょっとだけ足を延ばすが、



ガスが…。はい、これ以上前進する気にもなれず、いさぎよく撤退👉



振り返ればこれ。本当はここに駒ヶ岳が望めるはず。



ああ、本当は日の光に照らされた、幻想的な草紅葉を見たかったんだけどなあ。(そして頭の中の BGM は、再びナウシカの曲がよぎる…。)

本日はこれにて、店じまいっ!!

11:30 キリンテ登山口

12:45-12:55 休憩

14:15-14:40 大津岐峠

16:10-16:12 駒の小屋

16:25-16:35 会津駒ヶ岳

16:50 駒の小屋

ちなみに「一人一枚の布団を確保します」がキャッチコピーの駒の小屋🏠

某山小屋の詰め込み方式(1つの布団で2人利用)なんてことがないように、完全予約制で、定員30名を超える予約は絶対に受けないのがこのポリシー。なので土日は予約でいっぱい。

だからこそ、平日ならガラガラでゆっくりできるんじゃないかなあ、なんて思ってきたら、この日は12人。平日でも、悪天候でも、じわじわと人気急上昇の山小屋📈

自炊場で他の登山客とも話していたけど、

「会津駒ヶ岳は日帰りで十分に行ける山なのに、そこを敢えて泊らせたくなのが駒の小屋👍」

ほんと、そんな感じなんです、ここ。うん🤔

共有スペースが自炊場しかないから、そこで自然に他の登山客とも話ができ、小屋番さんともゆっくり話ができ(→これもポイント)、そして快眠🌌

ああ、ここに来てよかった!!



-----

【10月3日(水)】

朝。窓を開ければ、真っ白。

そうとわかれば、布団でぬくぬく…。

いいんです、今日はのんびりしに来たんです。というか、この肌ざわりのよい毛布が憎い！👤

のんびり起きて、のんびり食事を作って、しかも小屋場さんが淹れてくれた、まろやかなコーヒーをのんびり飲んで👤

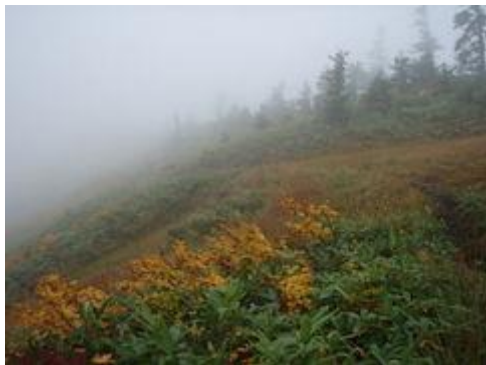
「小屋番さん、また来ます！👤」

と笑顔で出発。たくさんの元気をもらいました、ありがとう👤👤👤

天候の回復が望めないので、滝沢ルートですぐに下山、でもよかったのだが、正直、上海での運動不足が気になっていたので、

はい、御池まで、れっつだごー！👤

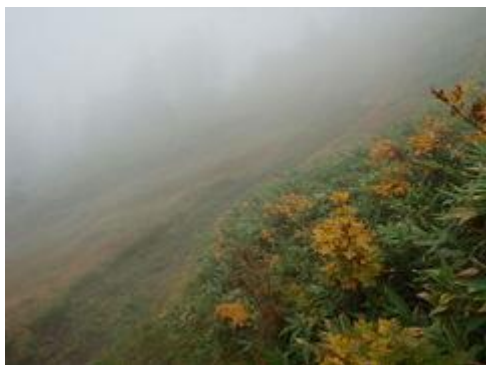
駒の小屋～御池の稜線。多少のアップダウンがある程度で、特に問題なく歩けるルート。晴れてたら、常に真正面に燧が見えていたんだらうな...、と妄想しつつ、



こんな感じ。。。

あとは、ほとんど藪の中をてくてくてくて歩くしかないので、正直、残雪期(積雪 1.5m くらい?)の方が、視界は広くてすっきりだね🤔

あとは画像で。



時折楽しめる、始まったばかりの紅葉🌸



藪の中。



電発避難小屋も、ちょこっと紅葉🌼



最後のピーク大杉岳。(まったく眺望ゼロ😞)

後半、昨日小屋が一緒だった登山客と合流した。よくある山談義から、話題はイモトのマッターホルン登頂

の話に。

いやあ、彼女のすごいところは、その運動神経もさることながら、周りの期待に応えることだよー、と。

うん🤔

そんなこんなで、最後はトークしながらの下山で、あっというまに御池。お疲れさまでした！

8:20 駒の小屋

9:30-9:35 大津岐峠

10:30-10:40 電発避難小屋

11:30-11:50 大杉岳

12:45 御池

※ちなみに、駒ヶ岳のもっと素晴らしい画像を見たい方は、駒の小屋のブログをご覧ください🖥

-----

【🔥温泉情報：御池ロッジ】

★500 円。

★露天なしで、コンパクトなお風呂場。

★施設がきれい。

この周辺の温泉は、かなり入ってきたけれど、おれの中では相変わらず、「燧の湯」が不動のナンバーワン、かな。

-----

ああ、そんなわけで、あさって(10/5)に、また上海に戻ります。

今回の一時帰国の主要目的は、長野のアパートを引き払うことだったけど、それ以外の休日も、かなり仕事をしていたような気がする…。

次回日本に戻ってくるときは、もっと計画的に休まねば!! 😓

ってことで、次回 は、●いこま! 👍

